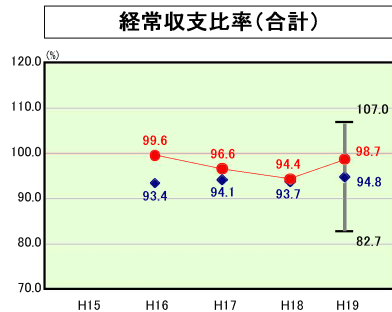


# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

大分県 臼杵市

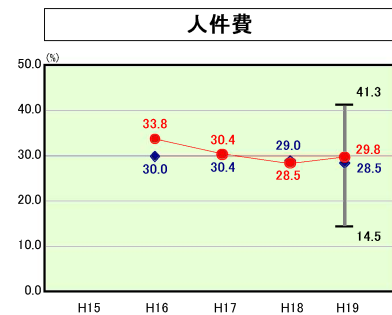
## 経常収支比率の分析



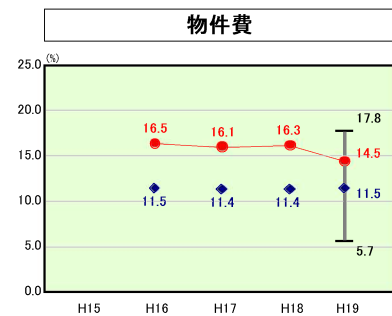
当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 ⊥  
類似団体内最小値 ⊥

人口 44,038人(H20.3.31現在)  
面積 291.07km<sup>2</sup>  
歳入総額 18,548,029千円  
歳出総額 18,200,456千円  
実質収支 314,080千円

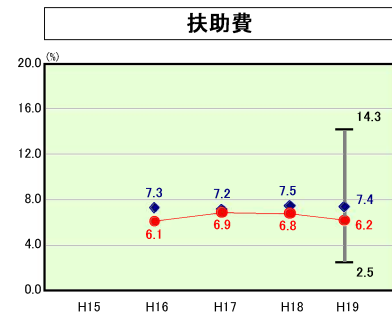
H19類似団体内順位 109/132  
全国市町村平均 92.0  
大分県市町村平均 94.8



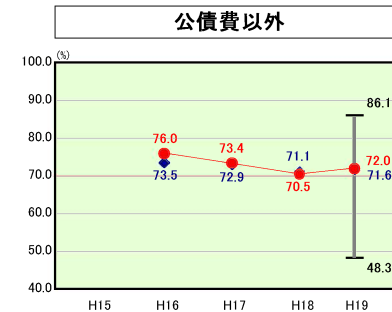
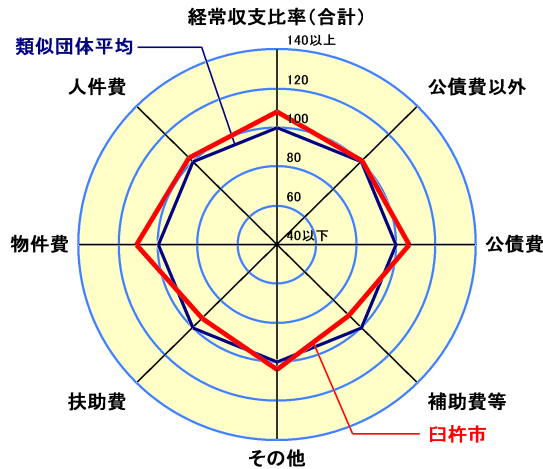
H19類似団体内順位 84/132  
全国市町村平均 28.0  
大分県市町村平均 32.9



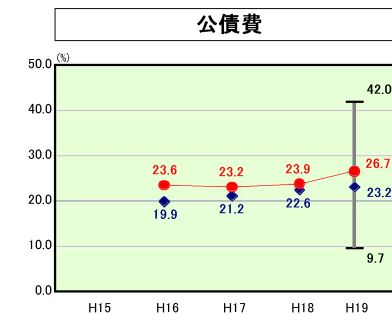
H19類似団体内順位 117/132  
全国市町村平均 13.1  
大分県市町村平均 11.6



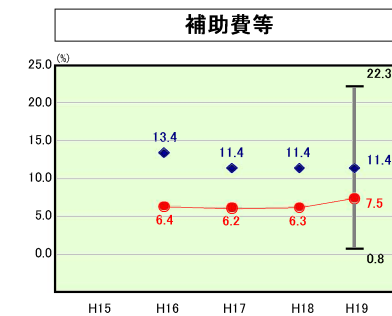
H19類似団体内順位 42/132  
全国市町村平均 8.8  
大分県市町村平均 8.0



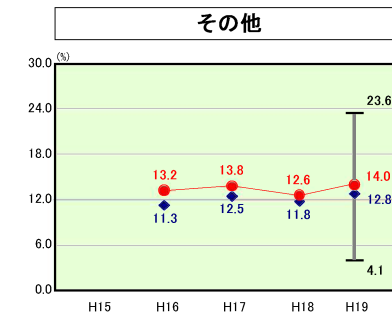
H19類似団体内順位 69/132  
全国市町村平均 71.7  
大分県市町村平均 72.0



H19類似団体内順位 103/132  
全国市町村平均 20.3  
大分県市町村平均 22.8



H19類似団体内順位 28/132  
全国市町村平均 10.4  
大分県市町村平均 5.6



H19類似団体内順位 88/132  
全国市町村平均 11.4  
大分県市町村平均 13.9

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**経常収支比率(合計)**  
対前年度比で、4.3ポイント増加しており主な要因としては、退職者の倍増による退職金の増加(+344,072千円)、後期高齢者制度負担金の増(+21,734千円)、ごみ処理施設建設事業の元金償還開始に伴う公債費の増加(+88,393千円)、また普通交付金の減(△240,623千円)等であった。来年度以降についても、団塊の世代の退職、消防分野分審整備事業等の大型事業の完全償還開始等により厳しい状況が予想される。こうした中、欠員不補充、職員給付の継続、民間委託・指定管理者制度を中心とした人件費の経費削減対策、バランスシート・市民評価システム等の活用による事業態勢等による経常経費の圧縮に加え、合併振興基金の有効活用や集中改革プランの実現等、更なる行政改革を推進していく。

**人件費**  
定年退職者数の増加(平成18年度4人→平成19年度13人)、豊後大野市からの消防職員移管8人増加、が人件費充当経常一般財源+62,920千円につながるが1.3ポイントの増

**物件費**  
豊後大野市消防業務委託料△140,935千円等の減少要素が物件費充当経常一般財源△230,575千円につながり1.8ポイントの減

**扶助費**  
児童手当(制度改正に伴う小6までの拡充による)+64,435千円の臨時的要素の増により、扶助費充当経常一般財源△88,178千円が0.6ポイントの減

**補助費等**  
後期高齢者制度負担金+21,734千円等の増加要素が補助費等充当経常一般財源+101,771千円につながるが0.7ポイントの増

**公債費**  
元金償還金+190,548千円の影響に伴う公債費充当経常一般財源の増+226,260千円の影響により2.6ポイントの増

**その他**  
その他の主な要因としては、繰入金において公共下水道事業特別会計繰入金を中心に繰入金充当経常一般財源+152,039千円で1.7ポイントの増となった。全体では、対前年度1.4ポイントの増となった。